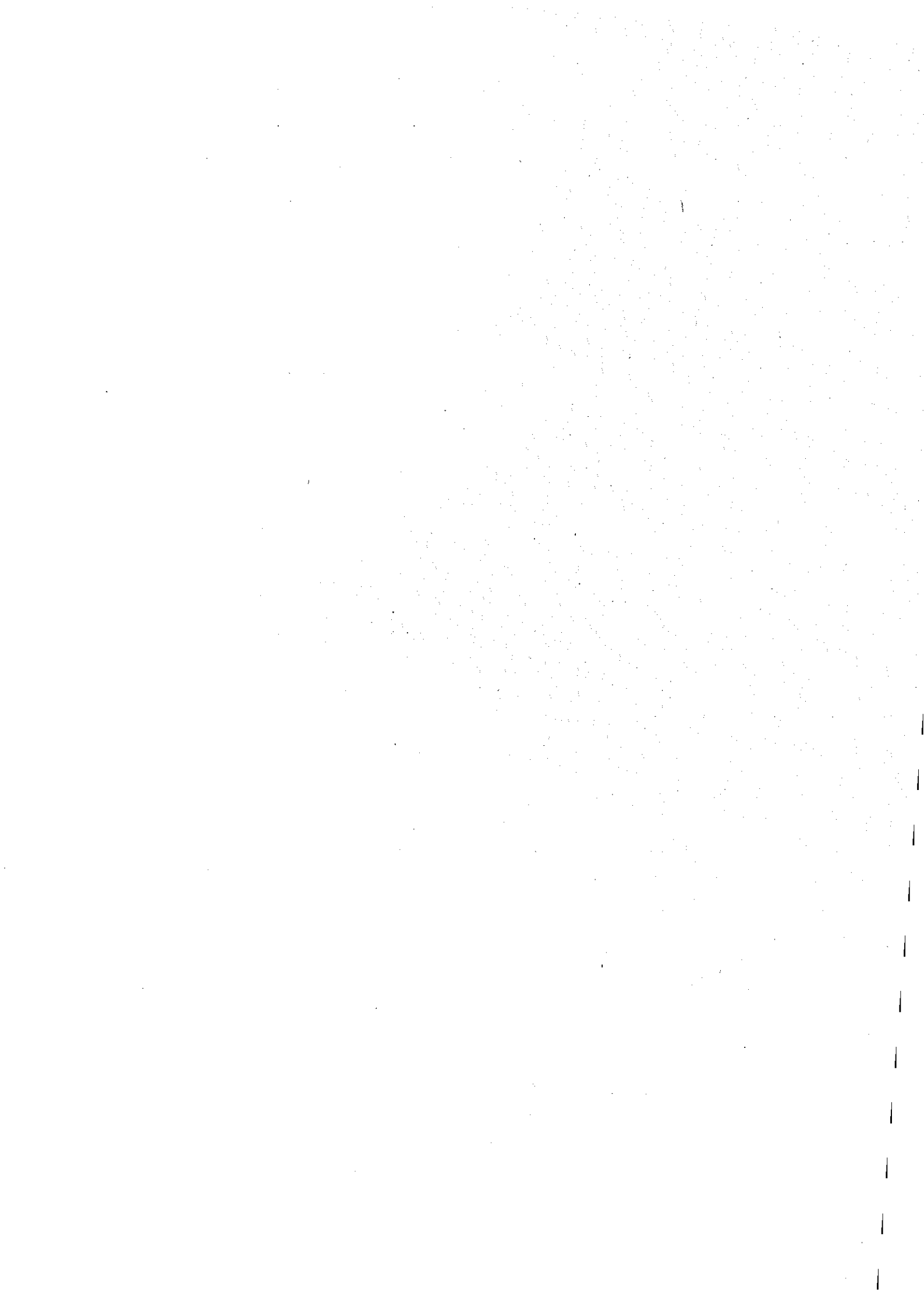


第2部

事務事業の外部評価報告書

遊佐町行政評価外部評価委員会



I. 外部評価について

① 遊佐町行政評価外部評価委員会設置の目的

行政評価については、平成15年度より試行し、平成16年度から役場内部で遊佐町行政評価推進委員会を設けて、行政事務事業評価を実施してきました。具体的には、事業の目的や成果を検証し、更には課題を整理しながら当該事業を改善していくという内部評価に取り組んできました。

この過程で三つの課題が浮び上がりました。一つ目は、行政評価は、町民への施策や事務事業の説明を目的とし、事業の見直しや仕分けというものに繋げるためのものと位置づけているものの、実際には、行政評価の結果と遊佐町の振興計画の策定作業とが直接結びついていない状況でした。

二つ目は、行政評価を行った結果が町民への説明資料として作成されるものの、評価により明らかになった課題が次の計画や予算に直接反映することがない状況でした。その結果、普段の行政事務が整理されないまま、行政評価の事務が増えているだけといった状況があり、町民説明という目的は幾分果たしているものの、優先順位として直接業務に影響している度合いは、決して高いものではありませんでした。

三つ目は、評価の対象として、評価する必要性が低いと思われる事業や、町に裁量権が無い事業などが対象とされていることによって「何のための行政評価なのか」といった評価を行う目的がさらにぼやけてしまっている状況にありました。

以上のように、より効率的で効果的な政策運営を進める仕組みや町民に分かりやすい町政の運営を図る仕組みというものが求められています。そこで、町民による客観的な評価により明らかになった課題を、迅速に次の計画に反映していくことで、町民本位の町政、町民の立場に立った町政に変えていく行政経営の一つの手段として、外部評価ということが検討されました。

その結果、平成22年度から遊佐町では外部評価を実施することとなり、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、その目的を、町が実施する行政評価に関し、「評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保すること」としました。

② 遊佐町行政評価外部評価委員会 名簿(平成27年度)

番号	役職	出身地区	氏名	班	推薦等	出身集落	備考
1	学識経験者	高瀬	菅原 ^{ヒロシ} 寛志	1	農協遊佐支店推薦	樽川	
2	学識経験者	遊佐	本間 優子	2	遊佐町商工会推薦	駅前二区	
3	学識経験者	蕨岡	伊藤 孝太郎	1	蕨岡まちづくり協会推薦	平津	委員長代理 班長
4	学識経験者	遊佐	高橋 ^{ヨシカズ} 喜和	1	遊佐地域づくり協議会推薦	駅前一区	
5	学識経験者	稲川	佐藤 次子	3	稲川まちづくり協会推薦	千本柳	
6	学識経験者	高瀬	^{トシタ} 常田 さとみ	2	高瀬まちづくりの会推薦	富岡	
7	学識経験者	吹浦	高橋 美紀	3	吹浦地区まちづくり協議会推薦	宿一	
8	公募委員	遊佐	佐藤 憲三	3	公募	八日町	委員長 班長
9	公募委員	蕨岡	小松 智子	3	公募	下小松	
10	公募委員	吹浦	山上 ^{アキオ} 皓夫	1	公募	横三	
11	公募委員	西遊佐	樋口 信義	2	公募	白木	班長

1班 (総務課、議会事務局、産業課、農業委員会 関係)

2班 (企画課、地域生活課 関係)

3班 (健康福祉課、町民課、企画課 関係)

1	事務局長	企画課 課長	池田 与四也				
2	事務局	企画課 補佐兼企画係長	高橋 善之				
3	事務局	企画課 主任	石垣 学				
4	事務局	企画課 主任	佐藤 裕也				
5	事務局	企画課 主事	高橋 英里				

※任期は、平成28年3月31日までとする。

③ 外部評価の日程

日付	時間	場所	内容
6月25日(木)	9:30~11:30	役場 防災センター 2F会議室	遊佐町行政評価外部評価委員会 (第1回)(講話)(評価の仕方) 講話: 埼玉大学 齋藤友之 教授
7月8日(水)	9:00~16:00	役場 会議室	外部評価ヒアリング(聴取) (各班と役場の係毎に実施する)
7月9日(木)	9:00~16:00	役場 会議室	外部評価ヒアリング(聴取) (各班と役場の係毎に実施する)
7月10日(金) (予備日)	9:00~16:00	役場 会議室	外部評価ヒアリング(聴取) (予備日は使用せず)
7月22日(水)	10:00~17:00	役場 防災センター 2F会議室	遊佐町行政評価外部評価委員会 (第2回)(各班の意見共有) 指導: 埼玉大学 齋藤友之 教授
8月上旬 開催なし	10:00~12:00	役場 会議室	遊佐町行政評価外部評価委員会 <u>外部評価の結果について、各課から 意見等が無かったため、開催しな かった。</u>
8月28日(金)	10:00~12:00	役場 202会議室	遊佐町行政評価外部評価委員会 (第3回)(報告書について)

※12:00~13:00までは休憩とする。

※7月10日(金)を予備日とし、時間内に終わられない場合、又は、後日、回答を求める場合に利用する。それらが無い場合は、予備日の利用等について班毎に決める。

※ヒアリングの時間については、係毎の事務事業評価シート数で割り出したものであり、長時間に渡るか、短時間で終わるか予測が難しいため、あくまでも目安とすること。

※外部評価委員11人を4人、3人、4人の3班に分けて実施する。1班は、総務課、議会事務局、産業課、農業委員会関係。2班は、企画課、地域生活課関係。3班は、健康福祉課、町民課、企画課関係とする。

※教育課関係業務は法律に基づく独立した事業評価を実施していることから、外部評価ヒアリングの対象外となっている。

④外部評価ヒアリングの日程

外部評価班	課名	係名	事務事業評価シート数		日付	時間	場所
			係	課			
1班	産業課	産業創造係	8	15	7/8 (水)	9:00 ～ 16:00	202会議室
		農業振興係	3				
		水産林業係	4				
	農業委員会事務局	農地管理係	2	2			
	議会事務局	議事係	1	1			
	総務課	総務係	2	13	7/9 (木)	9:00 ～ 16:00	
		財政係	2				
		情報統計係	3				
		危機管理係	6				
出納室	出納係	無し	-				
2班	企画課(企画係除く)	まちづくり支援係	3	10	7/8 (水)	9:00 ～ 16:00	議事所
		定住促進係	4				
		観光物産係	3				
	地域生活課	管理係	9	28	7/9 (木)	9:00 ～ 16:00	
		土木係	2				
		下水道係	2				
		上水道係	3				
		環境係	12				
3班	町民課	課税係	2	5	7/8 (水)	9:00 ～ 16:00	203会議室
		納税係	2				
		町民係	1				
	健康福祉課	介護保険係	4	28	7/9 (木)	9:00 ～ 16:00	
		福祉子育て支援係	9				
		国民健康保険係	2				
		健康支援係	13				
	企画課(企画係)	企画係	6	6			
1班	5	10係(対象9係)		31			
2班	2	7係(対象7係)		38			
3班	3	8係(対象8係)		39			
合計	10	25係(対象24係)		108			

※各日、12:00～13:00を休憩とする

※係毎に行うので、係の順番は、各課で調整する。

※7月10日(金)を予備日としておりますので、時間内に終えられない場合、又は後日、回答を求める場合に利用する。それらが無い場合は、予備日の利用等について班毎に決める。

⑤ 外部評価ヒアリングの実施手順

1. 目的

行政事務について解りやすく説明するとともに、外部評価委員（町民目線）とその事務事業の在り方について一緒に考えることを通じて、事業の精査と充実に資することを目的とする。

外部評価委員の意見については、9月議会、振興審議会に報告され、翌年度の振興計画策定及び予算策定の参考として活用する。

2. 評価手順

(1) 説明

事業の説明・評価は、係単位で行い、係長又は係員が外部評価委員に対して行う。

(2) 進行手順

①係業務概要の説明

係としての業務全体の概要と係の中で中心的に取り組んでいること、特に課題となっていることとその対応に関する考え方などの説明（2分）

②評価事業の説明

事務事業評価シートに基づき、評価対象となっている個別事業の目的、手段（事業の活動内容）、対象、成果、担当課年度評価の順で説明
（説明時間は、事業数×3分）

外部評価委員との議論時間は、係の説明を含めて、1事業当り15分を目安とする。

③判定

各事業について、あらかじめ事務事業評価シートを外部評価委員に渡し、議論の後にコメント、方向性を委員で調整して、取りまとめる。

3. 委員構成

外部評価委員は、3班構成とする。（各班の班長が議長となる）

- ・ 1班 4名 10係31事業
- ・ 2班 3名 7係38事業
- ・ 3班 4名 8係39事業

4. 外部評価委員会（外部評価ヒアリング）開催日程

- ・ 開催は、7月に、数日に分けて行う。
- ・ 議論の状況は、町民に公開しない。

⑥ 遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱第3条第2項第2号の規定に基づく公募による委員(以下「公募委員」という。)の選考方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(応募資格)

第2条 公募委員に応募しようとする者(以下「応募者」という。)は、次に掲げる要件を備えていなければならない。

- (1) 遊佐町の町政に関心のある者
- (2) 遊佐町の住民基本台帳に記載され、又は、外国人登録原票に登録されている者で、引き続き1年以上遊佐町内に居住している者
- (3) 応募する年度の4月1日現在の年齢が20歳以上の者
- (4) 平日に開催する会議等にも出席できる者
- (5) 国又は地方公共団体の職員、国会又は地方議会の議員でない者

(応募方法等)

第3条 公募委員の募集は、遊佐町役場の掲示場に掲示するほか、遊佐町広報等により行うものとする。

2 公募委員の募集人員、募集期間、応募方法等は、遊佐町行政評価外部評価委員募集要項に定める。

3 応募者は、遊佐町行政評価外部評価委員応募用紙(別記様式。以下「応募用紙」という。)により応募するものとする。

(選考の方法)

第4条 公募委員の選考に当たり、遊佐町行政評価外部評価委員選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 選考委員会は、副町長、教育長、総務課長、企画課長で構成する。

3 選考委員会に委員長を置き、副町長をもってこれに充てる。

4 選考委員会は、応募資格及び応募用紙の記載内容を審査の上、選考するものとする。この場合において、次に掲げる事項を総合的に考慮するものとする。

- (1) 男女比や年齢構成の均衡
- (2) 職種の多様性
- (3) その他必要な事項

(選考結果の報告等)

第5条 委員長は、公募委員の選考を終了したときは、直ちに町長に報告しなければならない。

2 町長は、前項の報告を受けたときは、速やかに、選考結果を応募者全員に書面で通知するものとする。

3 応募用紙は、返却しないものとする。

4 応募者等からの選考過程についての問い合わせには応じないものとする。

(庶務)

第6条 選考委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が選考委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。(遊佐町告示第70号)

⑦ 遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 町が実施する行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 町が実施した事務事業評価の内容の検証を行うこと。
- (2) 町が実施した事務事業評価の内容に関し、提言及び提案を行うこと。
- (3) 行政評価制度のあり方に関し、提言を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた事項。

(組織等)

第3条 委員会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 公募による町民
- (3) 前2号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱する日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者又は関係職員の出席を求めることができる。

3 委員長は、第2条に規定する所掌事項を効率的に処理するため、委員に分業を指示することができる。この場合において、委員は、その結果を委員長に報告するものとする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。（遊佐町告示第69号）

附 則（平成26年6月13日告示第121号）

この要綱は、公布の日から施行する。

II. 評価の視点 (外部評価に当たっての視点)

外部評価に際して、事業を町が本当にしなければならないものか、という「行政関与の妥当性・必要性」に重きを置き、その上で、「事業の効率性」さらにはその「事業の効果・成果」を順に検討した。これら視点の具体的な内容は、以下の通りです。

①行政関与の妥当性・必要性

- 行政でなければできないことがあり、行政だからできることがある。町の行政を町民の視点で検討し、行政が関与していく必要性を検証する。
- 世の中には、社会的弱者と言われる人たちがいて、行政が関与しなければ、助けることができない場合がある。社会的弱者の視点で、行政が関与することは、妥当なのか、必要なのか、検証する。
- 事業の中には、「なぜ行政がここまで関与するのか」というような疑問を抱くものもある。いろいろな協議会や協会の事務局を行政が行っている場合があるが、行政サービスと行政が関与する必要性を混同しているときがある。町民の視点で、見直す必要性があるかを検証する。
- 以前は、声が大きい人や権威がある人が言うと、予算が通る時代があった。最近の予算の無い時代には、行政も、できないものはできないと言わなければならない。町民に任せることも必要である。行政がすべきことと町民ができることを比較しながら、検証する。
- 例えば、国で決めた補助事業を、そのまま鵜呑みにして導入し町で実施するのは、いかがなものかと考える。失敗する場合もあり、失敗してもだれも責任をとらない。町民にとって本当に必要な事業は何か、行政も本当に必要と考え実施している事業なのか、町民の視点で検証する。

②事業の効率性

- ムダの排除ということを考え、まとめられる事業はまとめるべきである。同じような事業を、違う課にまたがって行っている場合もあるので、類似的な事業はないか、事業の再編や統合はできないか、事業の効率性を考えた合理化という視点で検証する。
- どんな事業も費用が優先されるが、費用をかけないサービスという効率的な視点で事業はできないか、検証する。

③事業の効果・成果

- 事業の効果・成果が、行政において、あまり確認されていない場合があ

る。町民の視点で費用対効果も含めて、事業の効果・成果を確認し、今後、どのようにすべきかを検証する。

- 事業の効果・成果について、行政としての評価が甘くないか、過大すぎないか、検証する。

④その他

- 費用対効果や受益と負担のバランス、町民への奉仕者としての役割を、企業経営という視点で比較しながら検証する。
- 業務上の日常の管理が事業の実施上の管理に結びついているか、管理するための目標値がきちんと設定されているかという視点で検証する。
- 事業も長期に渡り実施することで、マンネリ化、慢性化してくる。そのようなことによる弊害を防ぐという視点で検証する。
- 外部評価の実施も6年目となり、昨年までとの比較という視点で検証する。

Ⅲ. 結果

① 評価結果（事業の「方向性」の特徴・比較）

- 全部で108の事業について評価したが、次年度以降の事業の「方向性」について、担当課評価と外部評価に分けて集計した結果は、別表のとおりである。また、全事業の個々の評価については、次の「②外部評価ヒアリングの事務事業シートのまとめ」をご覧ください。
- 「継続」が担当課評価の84.3%に対して、外部評価が64.8%、「改善」が担当課評価の12.0%に対して、外部評価が31.5%で、外部評価で「継続」が減り、「改善」が増えている。全体的に担当課評価より外部評価の方が、厳しい評価結果となった。
- 「方向性」の内訳について、担当課評価と外部評価を突き合わせると、「継続」、「改善」など一致しているものが、108の事業の内、83の事業で76.9%となっている。前年度のそれが63.8%であったので、前年度よりも一致する割合が増えた。担当課評価と外部評価の評価に対する考え方が近づき、担当課評価の客観性が向上してきていると言える。
- 担当課評価と外部評価で「方向性」の一致しないものが、25事業で23.1%あるが、これらの事業については、それぞれ町として精査し、検討する必要がある。その中のほとんどが「改善」であるが、今年度の特徴として、担当課評価及び外部評価が「統合」とした事業が2事業上がった。これは前年度の段階で「改善」の指摘を受けており、その指摘を重視し、すでに事業統合がなされている。
- 担当課評価と外部評価の「方向性」が一致している場合であっても、「改善」については検討を要するということであり、外部評価を参考基準として改善を図り、より良い事業展開を考えていく必要がある。「継続」についても、事業における課題はいくつかあるわけであり、その課題を、外部評価でのコメントを参照基準として、町民の視点で更なる充実を図っていくことが大切である。

(別表)

外部評価の評価結果

方向性の集計

方向性	担当課評価	%	外部評価	%
拡大	1	0.9%	1	0.9%
継続	91	84.3%	70	64.8%
改善	13	12.0%	34	31.5%
縮小	0	0.0%	0	0.0%
統合	1	0.9%	2	1.9%
廃止	2	1.9%	0	0.0%
終了	0	0.0%	1	0.9%
対象外	0	0.0%	0	0.0%
計	108	100.0%	108	100.0%

方向性の内訳

方向性		外部評価							計 (%)	
		拡大	継続	改善	縮小	統合	廃止	終了		対象外
担当課評価	拡大	1	0	0	0	0	0	0	0	1 (0.9)
	継続	0	69	22	0	0	0	0	0	91 (84.3)
	改善	0	1	12	0	0	0	0	0	13 (12.0)
	縮小	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	統合	0	0	0	0	1	0	0	0	1 (0.9)
	廃止	0	0	0	0	1	0	1	0	2 (1.9)
	終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	対象外	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	計 (%)	1 (0.9)	70 (64.8)	34 (31.5)	0 (0.0)	2 (1.9)	0 (0.0)	1 (0.9)	0 (0.0)	108 (100.0)



← 担当課評価と外部評価の「方向性」が一致するもの。

② 外部評価ヒアリングの事務事業評価シートのまとめ(108事業分)

注: 担当課評価と外部評価の方向性が違うところ。 → 

評価の流れ: 担当課評価 → 外部評価

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
258	7	総務課 総務係	町職員研修事業	A	継続	改善	派遣研修、庁内研修については状況に応じてより充実していただき、新たな行政需要に対応するための長期研修を実施できるように検討いただきたい。
259	7	総務課 総務係	人事・給与事務事業	B	改善	改善	住民サービスの向上と職員の心身の健康管理に配慮し、業務内容に応じた適正な人員配置になるよう定員適正化計画を継続的に見直していただきたい。
268	7	総務課 財政係	財政の健全化促進事業	A	継続	継続	地方債残高の縮減のため繰り上げ償還を計画的に進めていただきたい。
359	2	総務課 財政係	ニュータウン青葉台住宅団地分譲地新築助成金交付事業	B	継続	継続	今後も継続することで販売促進に努めていただきたい。
249	7	総務課 情報統計係	ホームページ作成事業	A	継続	継続	使いやすく魅力あるホームページ作成の努力がアクセス数増になっていると思われる。内外の要望等を取り入れてきた改善の姿勢を今後も持続していただきたい。
262	7	総務課 情報統計係	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業	B	改善	改善	マイナンバー制度導入が現実のものとなった今、情報ネットワークのセキュリティ管理に、より厳しいものが求められる。職員、とりわけ学校の教職員のセキュリティ意識をさらに高められるよう努めていただきたい。
264	7	総務課 情報統計係	基幹GIS推進事業	A	継続	改善	これまで同様、各級対象の研修会を開催すると同時に、上級レベルの職員の育成を図っていただきたい。
85	2	総務課 危機管理係	消防団活性化事業	A	継続	改善	消防団の存在は、災害対策として欠くことのできないものである。現在の組織を維持できるように、職場などへの働きかけ、団員の福祉の向上を考えるなど、消防団と協議しながら団員の確保に努めていただきたい。
87	2	総務課 危機管理係	自主防災組織育成事業	A	継続	改善	実効ある自主防災組織の活動の推進のため、町民の意識改革・向上に繋がるような、広報、研修活動の在り方を工夫していただきたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
98	2	総務課 危機管理係	防犯啓発事業	A	継続	継続	青色防犯パトロール活動が日常的に行われることで犯罪の抑止につながると思われる。未実施の2地区への働きかけを含め、広報等による町民への働きかけを計画的に実施していただきたい。
101	2	総務課 危機管理係	交通安全教育事業	A	継続	継続	各年代に応じたきめ細かい対策と今日的な課題である高齢者の事故防止に対応した方策をより多くの町民に周知し、交通安全意識の向上を図っていただきたい。
105	2	総務課 危機管理係	山岳遭難捜索救助用装備品整備補助事業	A	継続	継続	山岳遭難捜索救助用備品は、いざという時に備えて常に点検整備されなければならない。計画的に取り組んでいただきたい。
329	2	総務課 危機管理係	運転免許証自主返納促進事業	A	継続	継続	高齢者による交通事故撲滅を目標に、自主的に運転免許証の返納が進むよう、老人クラブ等の活動を通じてPRしていただきたい。
458	7	議会事務局 議事係	開かれた議会推進事業	B	改善	改善	より多く町民が参加するよう、町広報、議会報、HP等を活用し、町民意識の高揚に努めていただきたい。
71	2	産業課 産業創造係	町民駅委託事業	A	改善	改善	窓口時間の拡大と観光計画との連携を検討いただきたい。
73	2	産業課 産業創造係	デマンド交通システム事業	A	改善	改善	利用者の利便性、スムーズな運行のためにも、利用ルールの周知徹底を今後とも図っていただきたい。
358	2	産業課 産業創造係	交通弱者対策事業	A	廃止	統合	類似事業の窓口一本化によって利用者の利便性を高めるために、類似事業のNo.397の事業と統合すべきである。
359	2	産業課 産業創造係	高校生乗合タクシー事業	B	改善	改善	経過を見ながら、事業の在り方を検討していただきたい。
124	3	産業課 産業創造係	ビジネスネットワーク事業	A	継続	継続	ビジネスネットワーク協議会の活動の強化・ビジネス大使のより積極的な活用を図り、より強固なネットワークを構築し、計画的に企業誘致の実現に努めていただきたい。
307	3	産業課 産業創造係	創業支援センター事業	A	改善	改善	遊佐ブランドの確立のため、起業支援の在り方を検討していただきたい。
137	3	産業課 産業創造係	雇用創出対策助成制度	A	継続	改善	雇用の創出のために、求職者への対策の強化を図っていただきたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
125	3	産業課 産業創造係	立地企業支援事業	A	継続	継続	既存企業の振興、雇用拡大に寄与するための奨励金交付事業、平成27年度からの設備投資支援事業の継続と、支援メニューの周知を図り、企業誘致に努められたい。
107	3	産業課 農業振興係	産地化推進作物転作促進支援事業	A	継続	継続	JAとより緊密に連携して、転作のあり方について検討のうえ、より有効な形での事業推進を図っていただきたい。
372	3	産業課 農業振興係	まるごと遊佐推進事業	A	継続	改善	関係団体が協力して行うこの事業と、その他の交流事業等を通して更なる実績向上と買い手の掘り起こしに努めていただきたい。
373	3	産業課 農業振興係	輸出サポート支援事業	A	継続	継続	関係機関と協議し、輸出を見込める品目と輸出先の拡大を図れるように取り組んでいただきたい。
116	3	産業課 水産林業係	あわびの放流事業	A	拡大	拡大	あわび放流の成果も見えてきている現状から、今後も行政が積極的に関与しながら進めていただきたい。
11	1	産業課 水産林業係	森林整備ボランティア事業	A	継続	改善	高校生に誘いかけるなど、より多くの町民が参加するように取組を強化していただきたい。
385	3	産業課 水産林業係	小水力発電施設整備事業	A	継続	継続	クリーンエネルギーとして、また土地改良事業についても有効な事業であり、その実現に向けて努力していただきたい。
118	1	産業課 水産林業係	公有林整備事業	A	継続	継続	計画的に町有林の保全管理に努め、間伐材の有効利用などを勧奨しながら事業を進めていただきたい。
389	3	農業委員会 農地管理係	参考賃借料の情報提供業務	A	継続	継続	農業の担い手の減少、離農希望者が増加している現状に鑑み、農地集積のためにも継続していただきたい。
390	3	農業委員会 農地管理係	農業委員会議事録公開業務	A	継続	継続	担い手農家の育成・農地集積のために、引き続き総会にかかる農地情報を提供していただきたい。
248	7	企画課 企画係	広報発行事業	A	継続	継続	身近な広報誌として親しまれている。さらに紙面の充実を図ってもらいたい。
253	7	企画課 企画係	事務事業評価システム推進事業	A	継続	改善	若い世代の委員の参画を工夫していただきたい。
323	6	企画課 企画係	地域おこし協力隊推進事業	A	継続	継続	隊員の活動内容も定期的に発信されている。特に「ゆざのみ」は関心を持っている町民が多い。今後も町内外に対し情報発信を行い、より多くの町民から認知してもらえるよう活動を継続してもらいたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
245	6	企画課 企画係	ハンガリー等派遣事業	A	継続	改善	参加者のバランスと、成果報告会の開催方法を検討していただきたい。
246	6	企画課 企画係	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	A	継続	継続	今後も定期的な広報掲載など、制度の周知を図られたい。
459	7	企画課 企画係	ジオパーク構想推進事業	A	継続	継続	近隣市町との連携と事業内容のPRに努めていただきたい。
242	6	企画課 まちづくり支援係	きらきら遊佐マイタウン事業	A	継続	継続	今後もきめ細かな周知徹底を行い、申請団体との連絡調整を密にして、自主的な地域活動を推進していただきたい。
450	7	企画課 まちづくり支援係	遊佐町ふるさと納税推進事業	A	継続	継続	納税者が拡大し、特産品発送時にチラシの同封や選べる特産品シールの貼付をすることで、遊佐の知名度向上に対し一定の効果があつたものと思われる。今後も、遊佐の魅力ある商品の開発を継続して行っていただきたい。
247	6	企画課 まちづくり支援係	男女共同参画推進事業	A	継続	継続	策定後は周知徹底を行い、女性の登用が目標値まで上がるよう、町民への意識づけを進めていただきたい。
325	6	企画課 定住促進係	移住交流推進事業	A	継続	継続	長年の生活クラブ生協との関係を保ちながら、関係機関と連携して、農業体験・生活体験などによる、自然・食・水などの遊佐町らしさを今後もPRしていただきたい。
440	2	企画課 定住促進係	集落支援員活動事業	A	継続	継続	移住希望者に対するきめ細やかな対応や、様々な気配りを続け、より多くの人の定住に繋げていただきたい。
441	6	企画課 定住促進係	結婚推進支援事業	A	継続	改善	庄内町など、他市町村の成功例などに学ぶとともに、若い人を惹きつけるようなテーマ・題材や、会話機会の創出など工夫をしていただきたい。
460	2	企画課 定住促進係	定住住宅空き家活用事業	A	継続	継続	空き家の有効活用により、定住促進への効果が生まれていると見受けられる。今後も空き家バンク登録者の意向などを踏まえながら、計画的に進めていただきたい。
1	1	企画課 観光物産係	お花島インストラクターによる高山植物の保護啓発活動事業	B	継続	改善	インストラクターの登録者を増やすために、保険など待遇改善が必要と思われる。また、昨年に引き続きインストラクター、学校や観光協会などすべての関係団体と連携を図りながら、パンフレット等を活用し保護啓発を図っていただきたい。また、各小学校学年行事の鳥海登山で保護者と連携して、小学生に対する保護啓発に取り組んでいただきたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
113	3	企画課 観光物産係	グリーンツーリズム推進事業	B	改善	改善	民泊の受け入れは「大変そう」というイメージがあり、どんなことをするか不明で不安なため、町民からの受入れについて理解を得られるよう継続した周知徹底を図り、こまめに情報発信を行っていただきたい。グリーンツーリズム参加者に遊佐町の魅力を発信し、交流人口の増加に積極的に取り組んでいただきたい。
132	3	企画課 観光物産係	観光情報提供事業	A	継続	改善	観光客の需要を把握するために、ホームページ、ツイッター、facebookなどを駆使し、更に情報発信を行い、観光客の増加に努めていただきたい。
84	2	地域生活課 管理係	住宅リフォーム資金利子補給事業	A	継続	継続	制度の特性を活かし、適正に運用していただきたい。
311	2	地域生活課 管理係	持家住宅建設支援金交付事業	A	継続	継続	年度ごとの指標も目標数値を大幅にクリアしている事業である。今後は計画的に進めていただきたい。
361	2	地域生活課 管理係	若者住宅建設支援(取得支援)事業	A	継続	継続	取得支援・建設支援・賃貸住宅建設支援と三つの事業がある。各々の事業の特徴を生かした制度の周知を積極的に行い、計画的に進めていただきたい。
362	2	地域生活課 管理係	若者住宅建設支援(建設支援)事業	A	継続	継続	NO.361に同じ
363	2	地域生活課 管理係	若者住宅建設支援(賃貸住宅建設)事業	A	継続	継続	NO.361に同じ
76	2	地域生活課 管理係	地籍調査事業	A	継続	継続	より効率的に土地の利活用を行うためにも、土地の戸籍とも捉えられる正確なデータを整備するために本事業の推進に努められたい。
83	2	地域生活課 管理係	都市公園(河川公園)施設整備事業	A	継続	改善	「遊ぼっと」については、山形県一の入込客数の産直施設に隣接する場所でもあるので、観光、企画等関係所管と連携し、例えば「手なが、足なが構想」といったイメージでより総合的、発展的に事業展開していただきたい。また既存の施設については万全なる安全対策として点検整備を計画的に行い、子どもの遊び場としてさらなる利活用を図っていただきたい。
365	2	地域生活課 管理係	若者住宅・町営住宅建設事業	A	継続	継続	成果とする事項を確実に成し遂げるためにも、計画的に事業を行なっていただきたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
366	2	地域生活課 管理係	木造住宅耐震 診断事業	D	改善	改善	防災関係の所管部署と連携をとり、横断的な見地で事業の活用に向けた具体的な働きかけを行っていただきたい。一例として、事業を宣伝するためのキャッチコピー等を作り、9月1日「防災の日」に合せ広報等に掲載、事業を紹介して利活用を図る。
102	2	地域生活課 土木係	集落内自主除雪の支援事業	A	継続	継続	冬期間の交通確保を図る重要な事業であるので、今後も計画的に実施されたい。
60	2	地域生活課 土木係	メイクアップロード推進事業	A	継続	継続	道路美化は、その作業を通じて「花いっぱい運動」や「地域住民同士のふれあい」の機会ともなっている。同時に環境整備もできるこの事業を、計画的に実施されたい。
55	2	地域生活課 下水道係	下水道水洗化活動	A	継続	継続	接続工事等の支援対策のPRをしながら、町民の理解を図り、今後とも水洗化率の向上に努められたい。
451	7	地域生活課 下水道係	受益者負担金未納者対策事業	A	継続	継続	税等担当係とも連携を図りながら、未納者には個別対応を行い、収納率の向上に努められたい。
40	2	地域生活課 上水道係	上水道老朽管更新事業(石綿管)	A	継続	継続	下水道係と連携することでコスト面も考慮しながら、事業を継続されたい。
368	2	地域生活課 上水道係	濁水(赤水)対策事業	A	継続	継続	安全・安心な水の供給はライフラインの基本であり、今後とも計画的に進められたい。
452	7	地域生活課 上水道係	上下水道使用料金収納率向上対策事業	A	継続	継続	未納者については、健康福祉課等、関係する係と連携して、収納率の向上に努められたい。
17	1	地域生活課 環境係	里山保全地域(胴腹滝)の保全管理事業	A	継続	継続	遊佐町の水と暮らしの象徴である「胴腹滝」の環境を整備保全するこの事業を、今後も計画的に実施されたい。
21	1	地域生活課 環境係	エコアクションプラン推進事業	A	継続	改善	職員の努力による削減結果や外部監査結果を、広報やHP以外でPRする工夫していただきたい。今後も計画的に実施されたい。
308	1	地域生活課 環境係	環境推進員支援制度	A	継続	継続	地域の生活環境の保持を図るために大切な事業であるので、地域の実情に配慮しながら、計画的に実施されたい。
309	1	地域生活課 環境係	環境・エネルギーに関する研修会開催事業	A	継続	継続	今後も、様々な機会をとらえて、テーマを絞りながら、あらゆる世代が参加できる環境学習の場の提供に努められたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
310	1	地域生活課 環境係	八ツ面川管理支援事業	A	継続	継続	町民の憩いの場ともなっている八ツ面川の環境は、維持・保全すべきである。今後も引き続き、管理・整備の支援を実施されたい。
353	1	地域生活課 環境係	再生可能エネルギー設備導入補助事業	A	継続	継続	地球温暖化防止のみならず、地域経済の活性化にも貢献できる事業であるので、今後も普及に努められたい。
27	2	地域生活課 環境係	エコすまいるレディース育成支援事業	A	継続	継続	環境問題についての意識の定着を図る上でも重要な活動であるので、今後も、着実に実施されたい。
29	2	地域生活課 環境係	不法投棄防止対策事業	A	継続	継続	不法投棄の未然防止対策は重要である。引き続き、パトロールの実施や警告看板設置などの啓発活動に努められたい。
33	2	地域生活課 環境係	生ごみ処理機器購入助成事業	A	継続	継続	生ごみの減量化や有効利用のために、引き続き計画的に実施していただきたい。
34	2	地域生活課 環境係	一般廃棄物収集運搬事業	A	継続	継続	今後も、ごみ減量化に対する町民の意識向上と定着のための啓発活動に努められたい。
35	2	地域生活課 環境係	紙類資源物収集事業	A	継続	継続	ごみの減量化・再資源化を推進するための有効な事業の一つであるので、今後も啓発を含め、引き続き計画的に実施されたい。
36	2	地域生活課 環境係	資源物拠点収集事業	A	継続	継続	ごみの減量化・再資源化を推進するための有効な事業の一つであるので、この利便性の高さを活かした取り組みを、今後も啓発を含め、計画的に実施されたい。
395	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	寝具乾燥消毒サービス事業	A	継続	改善	民生委員等との連携を図りながら、事業の周知を図っていただきたい。
397	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	高齢者福祉タクシー事業	A	統合	統合	類似事業の窓口一本化によって利用者の利便性を高めるために、類似事業のNo.358の事業と統合すべきである。
398	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	高齢者鍼灸マッサージ助成事業	A	継続	改善	交付枚数の増加については評価できる。事業をさらに良くするためにも、利用者に対して、また券をもらったものの利用しなかった人に対するアンケートを実施していただきたい。
399	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	地域支え合い体制づくり事業補助金	A	継続	改善	子供会など、対象を老人クラブ以外にも拡大することを検討していただきたい。
144	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	子育て支援センターの運営事業	A	継続	継続	平成26年度事業は、施設利用者に対して調理室の有効活用も図られており評価できる。今後も施設利用者には喜ばれるような魅力ある事業の展開を検討していただきたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
145	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	育児支援家庭訪問事業(エンゼルヘルパー派遣事業)	A	継続	継続	要綱改正は評価できる。引き続き保健師等との連携を深めることによって、事業を進めていただきたい。
147	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	放課後児童クラブの支援事業(2箇所)	B	改善	継続	運営環境の改善については評価できるので、引き続き適正な運営に努められたい。
418	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	子育て世帯移住促進対策事業	A	継続	継続	人口減少の中で、特に子育て世代の移住者への事業として、さらに支援を計画的に実施していただきたい。
419	4	健康福祉課 福祉子育て支援係	幼稚園預かり保育支援事業	A	廃止	終了	世帯の負担軽減が図られ、待機児童の解消にもつながり、貢献度が高い本事業は通常保育のなかで対応できるため終了すべきである。
157	4	健康福祉課 健康支援係	高齢者体力アップ事業	A	継続	継続	対象となる方へのPR方法も工夫されており、町民の健康の保持増進のために計画的に実施していただきたい。ゆざ元気サポーターの活動についても、広報でのPRも含め、健康教室などの機会を捉えて支援していただきたい。
158	4	健康福祉課 健康支援係	食生活改善推進員養成事業	A	継続	改善	レシピの集落への回覧等については改善されている。推進員の活動については伝達講習、町内会での普及を場面を捉えて実施、配布されるレシピのメニューについては平成25年度の内容を参考にするなどの工夫、伝達講習を受けた方が学んだことを生活に定着させていけるような支援を検討していただきたい。
161	4	健康福祉課 健康支援係	特定健診	A	継続	継続	受診率向上のために、年代別に工夫して勧奨していくなど、さらに未受診者への受診勧奨の取り組みを計画的にしていきたい。
321	4	健康福祉課 健康支援係	若年者健診(わかば健診)	A	継続	継続	NO.161に同じ
162	4	健康福祉課 健康支援係	各種がん検診事業(胃、大腸、子宮、乳、前立腺、肺)	A	継続	改善	受診率向上のために、年代別に工夫して勧奨していくなど、さらに未受診者への受診勧奨の取り組みを計画的にしていきたい。また、ピロリ菌の検査項目の導入についても検討していただきたい。
163	4	健康福祉課 健康支援係	各種がん検診精密検査未受診者対策の推進	A	継続	継続	NO.161に同じ
164	4	健康福祉課 健康支援係	特定保健指導	A	継続	改善	対象者に対しては、さらにきめ細かな実施と、成功例の紹介をするなど事業のPRを行い、生活習慣の改善につなげていただきたい。
169	4	健康福祉課 健康支援係	ブックスタート事業(ハイはい絵本)	A	継続	継続	今後も計画的に実施していただきたい。

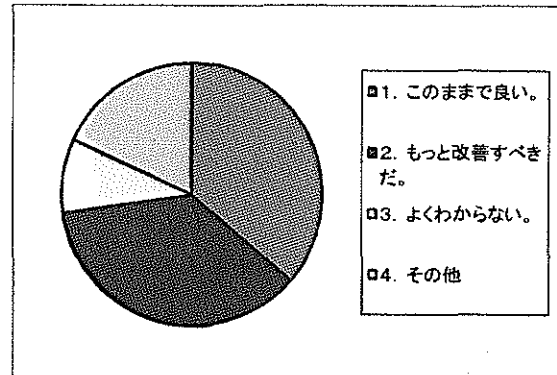
事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
171	4	健康福祉課 健康支援係	思春期赤ちゃん ふれあい体験事 業	A	継続	継続	昨年度指摘事項の妊婦体験・胎児モデルの貸し出しも実施しており、事業の改善もなされている。今後も計画的に実施していただきたい。
175	4	健康福祉課 健康支援係	幼児むし歯予防 事業	A	継続	継続	う歯罹患率が更に低下するように、今後も計画的に実施していただきたい。
178	4	健康福祉課 健康支援係	転倒予防教室 (介護予防事 業)	C	改善	改善	「通いの場」の創設と百歳体操の普及については介護予防に有効な事業である。事業を広げていくために関係団体へのPRに努め、関係団体と連携しながら事業を計画的に実施していただきたい。
180	4	健康福祉課 健康支援係	訪問口腔衛生 指導	A	継続	継続	初回訪問方法の変更やケアマネジャーの会と連携をし、昨年度指摘事項の改善もされている。今後も事業の効果が出るように計画的に実施していただきたい。
437	4	健康福祉課 健康支援係	地域医療充実 支援事業	C	改善	改善	町内医療機関の看護師不足解消のために、近隣市町にはない事業でもあり、PR等に工夫をして地域医療の確保のためにさらに事業をすすめていただきたい。また、他の専門職等への拡大についても検討していただきたい。
149	4	健康福祉課 介護保険係	介護予防事業 (ゆったり健康サ ロン)	A	継続	改善	参加者が増えるように、募集案内の工夫や参加者に対して魅力あるメニュー内容等の検討、他の類似事業との連携を図りながら、元気高齢者の事業として計画的に実施していただきたい。
337	4	健康福祉課 介護保険係	いきいき教室事 業	A	継続	改善	高齢者が参加しやすい事業名を検討し、事業内容の改善を行いながら計画的に実施していただきたい。
394	4	健康福祉課 介護保険係	家族介護継続 支援事業・重度 心身障がい者紙 おむつ支給事業	A	継続	継続	受給者にとっては不可欠な事業のため、計画的に実施していただきたい。
396	4	健康福祉課 介護保険係	住宅改造整備 補助事業	D	改善	改善	対象者には良い制度であるが、制度の認知度が低いと思われる。利用する方にわかりやすいように制度の周知を図り、また利用しやすい制度となるように対象年齢を変更するなど制度内容の検討を行っていただきたい。
430	4	健康福祉課 国民健康保険係	医療制度の周 知事業	A	継続	継続	あらゆるPR方法を活用して引き続きわかりやすい事業となるよう、計画的に行っていただきたい。
431	4	健康福祉課 国民健康保険係	ライフアドバイ ザー設置事業	A	継続	継続	ライフアドバイザーとさらに連携を密にして、収納率向上に引き続き努力していただきたい。
265	7	町民課 課税係	未申告者の適 正な指導事業	A	継続	継続	昨年指摘された配布物も改良されており、さらにそれを有効活用することで、引き続き適正・公平な課税に努めていただきたい。

事業NO	計画 【章】	所管課名 係名	事業名	担当課評価		外部評価	
				評価値	方向性	方向性	コメント
453	7	町民課 課税係	確定申告相談 業務	A	継続	継続	住民にとって利便性があり、内部研修も充実している。引き続き適切な業務をすすめていただきたい。
266	7	町民課 納税係	町税等未納者 対策事業	A	継続	継続	職員体制が1名減の中で、収納率が向上したことは評価できる。引き続き収納率の向上に努めていただきたい。
455	7	町民課 納税係	インターネット公 売業務	A	継続	継続	引き続き広報に記載することで、町民の納税意識の向上に役立っていると考えられる。インターネット公売等を活用して、未納額の回収に努めていただきたい。
257	7	町民課 町民係	サンデー窓口事 業	A	継続	継続	町民に対する周知方法も改善されており、住民サービス向上手段として、今後も着実に実施していただきたい。

ウ. 事務事業評価シートについて、どうでしたか？

1. このままで良い。
2. もっと改善すべきだ。
2の場合 → 改善すべき点は？ ()
3. よくわからない。
4. その他 ()

1. このままで良い。	4
2. もっと改善すべきだ。	4
3. よくわからない。	1
4. その他	2



2の場合 → 改善すべき点は？

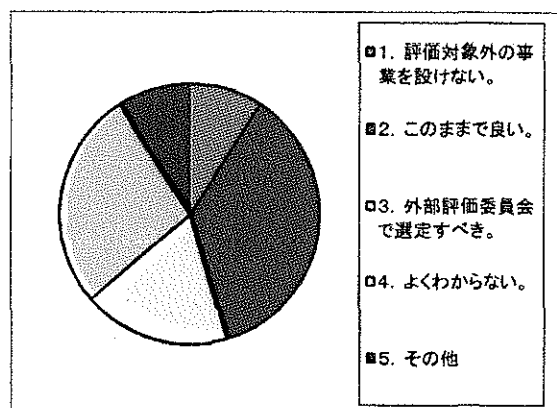
(前年度の町としての方向性の欄、指摘事項、活動は基本記入するように)
(目標値を出来るだけ数値を書くように)
(健康福祉課の検診関係のシート)

4. その他… (費用対効果が分かりにくいものもあった)

エ. 評価する対象事業について、どうでしたか？

1. 評価対象外の事業を設けず、全部の事業について評価すべきである。
2. このままで良い。
3. 外部評価委員会で、評価対象事業を選定すべきである。
3の場合 → 選定する基準は？ ()
4. よくわからない。
5. その他 ()

1. 評価対象外の事業を設けない。	1
2. このままで良い。	4
3. 外部評価委員会で選定すべき。	2
4. よくわからない。	3
5. その他	1



3の場合 → 選定する基準は？

(新規事業及び補助金とセットの事業など)
(町が多少なりとも匙加減できるものは対象とすべき)

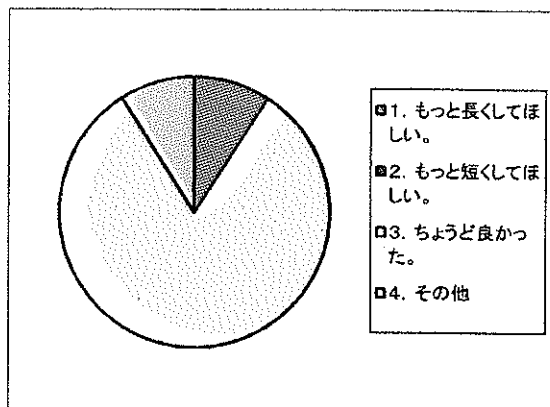
5. その他… (時間が足りない)

オ. 各係からの説明について、どうでしたか？

キ. 全体的な日程について、どうでしたか？

1. もっと長くしてほしい。 2. もっと短くしてほしい。 3. ちょうど良かった。
4. その他 ()

1. もっと長くしてほしい。	1
2. もっと短くしてほしい。	0
3. ちょうど良かった。	9
4. その他	1

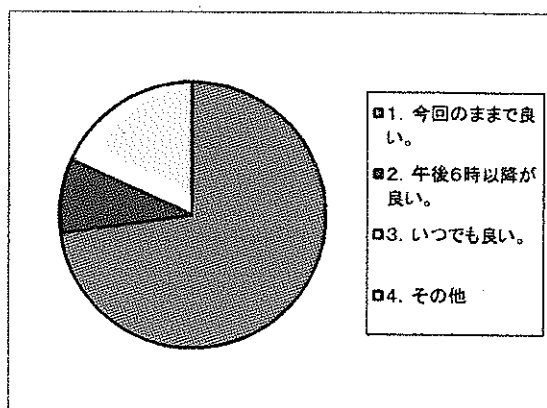


4. その他… (日程を長くすると負担が多くなるが、ボリュームを処理できない)

ク. 開催する時間帯は、どうでしたか？

1. 今回のままで良い。 2. 午後6時以降が良い。 3. いつでも良い。
4. その他 ()

1. 今回のままで良い。	8
2. 午後6時以降が良い。	1
3. いつでも良い。	2
4. その他	0

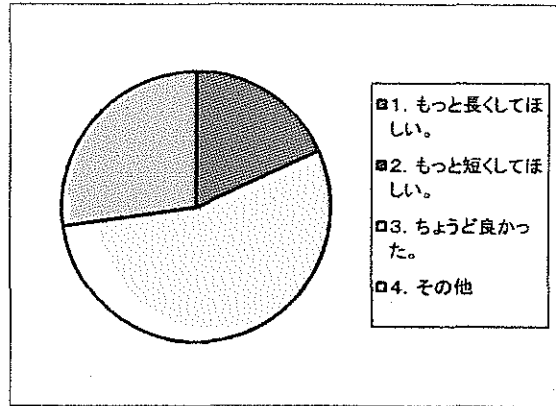


4. その他… ()

ケ. 1シート当たり20分という時間配分は、どうでしたか？

1. もっと長くしてほしい。 2. もっと短くしてほしい。 3. ちょうど良かった。
4. その他 ()

1. もっと長くしてほしい。	2
2. もっと短くしてほしい。	0
3. ちょうど良かった。	6
4. その他	3

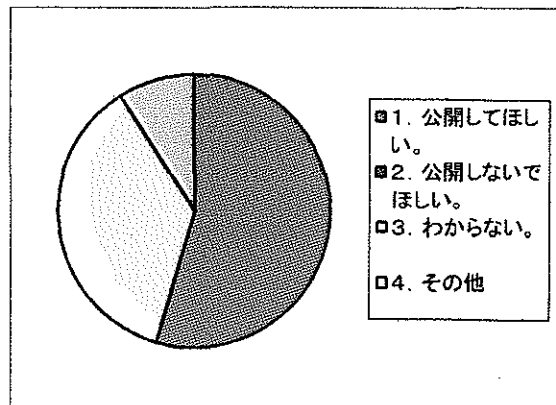


4. その他… (シートの内容にもより、もう少し詳しくと思うものもあった)
(基本的に20分で良いが、状況に応じて長短があっても良い)
(短いと感じる時やすぐに終了もあり、全体で見れば良かったのかも)

コ. 外部評価ヒアリングの議論の状況の一般への公開について、どう思いますか？

1. 公開してほしい。 2. 公開しないでほしい。 3. わからない。
4. その他 ()

1. 公開してほしい。	6
2. 公開しないでほしい。	0
3. わからない。	4
4. その他	1

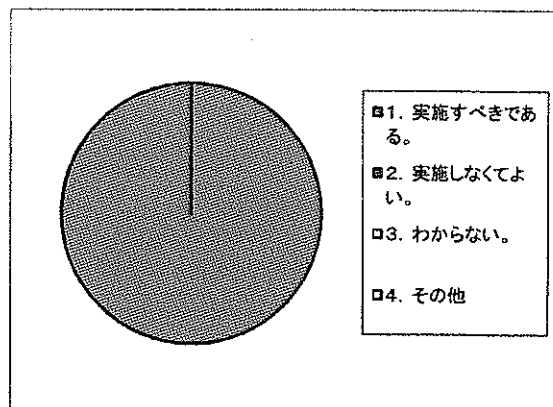


4. その他… (公開していいが、どのような形ですか)

サ. 来年度の外部評価についてどう思いますか？

1. 実施すべきである。 2. 実施しなくてよい。 3. わからない。
4. その他 ()

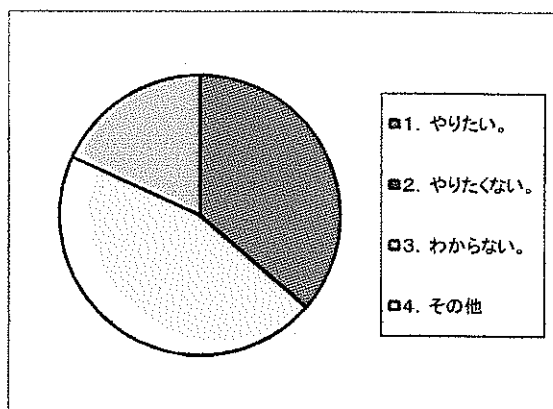
1. 実施すべきである。	11
2. 実施しなくてよい。	0
3. わからない。	0
4. その他	0



シ. 来年度も外部評価を実施した場合、外部評価委員をやりたいですか？

1. やりたい。 2. やりたくない。 3. わからない。
4. その他 ()

1. やりたい。	4
2. やりたくない。	0
3. わからない。	5
4. その他	2



4. その他… (自分の思いと、実際に行った結果、きちんと役割を果たしていたか不安を持っているので、「やりたい」とは言い難い)
(視点を変えるという意味でも、多くの町民に経験してもらえたらよい)

④ 外部評価ヒアリングで出された意見（外部評価委員の意見）

1. 外部評価のやり方について

- 班長が進行しコメントもまとめる作業を行うのは大変だと思う。両方せざるを得ないのか。発言できずに終わってしまわないのか。
- 班編成の決め方はどのような形がいいのでしょうか。
- 評価委員が昼食を一緒に食べることで、班同士の意見の交換が出来て良かった。
- 昼食を三班が一緒に取るのは大変良かった。
- 活動（事業）目的の達成度という評価の尺度で数量化が難しい。観光・企業活動促進、住民へのPRという公聴広報活動の内容をどう評価するか、周辺の多くのファクターが関連する。
- 今年度の委員は女性5人、男性6人でバランスが良かったが、班編成では片寄りがあった。班編成の男女比も一考の要はないか。
- 昨年度の評価なのに、今年度から新しく担当になった方は大変だと思います。質問する方も困るときがあります。

2. 事務事業評価シートについて

- 評価シートの中で、昨年度に改善とされた事業について、項目を追加し対応した事項を記載していただいたので検討しやすかった。
- 指標設定の考え方、客観性をどうするか今後の課題か。
- 評価基準を判定するためには、担当者の大変なご苦勞が見られる。より具体的な活動内容の理解が問われた。
- 「前年度の町としての方向性」の欄について、「前年度の指摘事項」は外部評価なのか「町としての考え方」なのかマチマチでした。また記入していないシートもあるなど、不統一のように見受けられた。
- 「事業の成果」の欄について、手段、目的になっているシートがあった。
- 「前年度の町としての方向性」欄を設けたのは事業を評価するうえで有益であった。

3. 担当職員について

- 職員の皆様の対応がとても柔らかく、数年前に比べ何でも相談・質問したくなりました。
- 自分が担当のポストに着いてからの個人としての自慢を滔々と語るのはちょっと気になった。

4. その他

- 初めてだったので、どの視点で意見を出せばよいのか悩むことがあったが、率直に発言するようにした。的外れもあったのではと思い、恥ずかしいと感じることがあった。
- 評価委員の選出の仕方、任期について、どのように考えているのか。理想としてどのくらいの期間が望ましいのかと疑問を感じた。
- 批判ではなく意見・質問を出すことが大切だと思う。
- 改善とされた事業について、担当課としてそれを基本として改善し工夫しながら事業に当り、実施されているシートが多くありうれしかった。
- 交流会にも多くの委員の出席で、先生との懇談をすることで有意義であった。
- 団体等からの推薦者の内、出席率の良くない場合は、代理出席など今後検討するべきではないか。
- 町民の満足度がどう充足されたのかを考慮すると、費用対効果という点のみでは問題が出てきそう。
- 指定管理者制度導入の施設管理をコスト面だけでなく、住民サービスで内容がどうなのかなど、きめ細かな評価基準が問われそうです。
- 対象となった事業は町民にとって必要なもの、あって欲しいものであり、町当局の担当者の仕事量の多さにご苦労がしのばれて、意見も出しにくいところがある。回を重ねるごとにその思いは強くなるものである。職員の説明は丁寧で分かりやすいが、慣れによる緩み・マンネリ化がないように互いに注意することが肝要であろう。
- 初めてのことで難しかった。行政の事で勉強不足を実感しました。これからは外部評価を開催し、町民の皆様に役立てれば良いと思います。
- 短期間ではありますが、町の運営現況を知ることが出来た。個人的見解まで述べるには至らなかったが、町民の参加で評価するというのは良いことだと思いました。
- 初めて参加しましたが、色々と自分自身の勉強になることも多かったです。役場職員の業務の大変さもわかりました。お疲れ様でした。
- いろいろな事業を知ることが出来て良かったと思います。でも、初めてでわからないまま終わったような感じです。ただ、まだあとが残っているので不安はあります。
- 方向性は継続でも、それをコメントには書けない言葉の使い方の難しさを知りました。

⑤ 外部評価ヒアリングで出された意見（行政評価推進委員【内部】の意見）

1. ヒアリングの進行について

- 班長が外部評価内容を意見集約する場合、あらかじめ自分なりに文章化していたものに当日の委員からの意見を反映させて修正する方法が、時間短縮に貢献していたと思われる。
- 班長がシート毎にヒアリング内容を精査しまとめて頂き、推進委員としては外部評価の評価欄への記入が非常に作業しやすかった。
- 班長については、慣れておられる方で進行については非常にスムーズに進めていただき、また外部委評価委員の意見・方向性のまとめ方についてもしっかりしていただけた。ただ、他の外部評価委員の消極性が気になった。
- 事前に評価シートには目を通していただいているものと思われるが、事業に対する意見があまり出ていないように見受けられた。評価シート1枚について、最低1回は発言してもらおうように出来ないだろうか。
- 今回外部評価委員の意見については、班長がすべてまとめてくれたが、たとえば外部評価委員が1シートごとに持ち回りにするなど、すべての外部評価委員が均等に役割を担えるようにできないだろうか。
- それぞれの事業に肯定的（好意的）な意見が多かったためか、議論の場面はほぼなく、説明会に来ているような感覚に陥りました。とにかく、スムーズにヒアリングは進み、あっという間に終了したという感じです。
- 班長の進行が効率よく、外部評価委員の意見のまとめもキチンと行っていたので大変スムーズでした。
- 班長が外部評価委員のコメントをまとめてくださったので、記録しやすかった。
- 質問事項も各外部評価委員があらかじめまとめていたため、効率よく、時間が有効に使われたので良かった。

2. 事務事業評価シートについて

- 指標の目標値が年度ごとに異なる場合もあり、それに対する指標の年度経過を見るため、年度ごとの目標値欄を設けてはどうか。

- 事務事業評価シートに、前年度の指摘事項と対応した主な活動が設けられたことは、議論していただく中でも大変役にたったと思われま

3. 事務事業評価制度について

- 評価委員から、事業に関する質問があり、各事業の周知がまだまだ足りないことを感じました。
- ヒアリングの中で、やはり外部評価に馴染まない事業があったように感じた。
- 外部評価対象事業について再度精査し、限られた事業についてより細かに評価する方が、外部評価委員、各係長、事務局それぞれの負担減が図られるのではないだろうか。
- 初めて行政評価推進委員としてヒアリングに携わり、係のほんの一部ではあるが、事業について詳らかにすることができたので大変有意義であったと思われる。
- 普段、業務をしている中では聞くことの無い、事業に対する町民の方々の貴重な意見や考えを聞くことができた。また、逆に町としての考えを委員の方々（町民の代表）に話すことができる場でもあったと思った。
- 委員の方々の意見により実際、事業の改善が図られており、町民と行政が連携し事業を作りあげていくような制度だと思った。

4. 事務局について

- 他班の担当事務・事業にも関わらず、係員を読んで説明をさせるよう求める委員がいたが、事務局で調査し回答内容を伝え了承してもらった。
- 進行については、ほぼ予定通りで終わっていたと思うが、中には30分以上かかった事業もあり、事務局側でアラームはかけて合図をしているものの、特にまとめの方向に誘導することは1度も無かったので、対応については検討すべきと感じた。